

実施報告

実施日

2021年10月29日(金) 午前の部

参加校

155人の児童の皆さんに参加いただきました!

【宮城県】	仙台白百合学園小学校	5年生	39人
【神奈川県】	横浜市立黒須田小学校	6年生	51人
【岐阜県】	岐阜市立木田小学校	5・6年生	39人
【大分県】	佐伯市立明治小学校	6年生	26人



アンケートより

学んだこと

- ・メディアを作っている人の工夫などがよく知れた
- ・アップとルーズで見るときの印象が変わることがわかった
- ・ケーキ屋さんの課題の発表で、同じセリフでもいろいろな考え方があり分りました

参加した感想

- ・知らない人達と意見を出しあいみんな意見が違ったのでそれが楽しかったです
- ・発表する時はとてもきんちょうしたけどよいけいけんになったと思う
- ・今まで他の学校とあまりふれあうことがなかったので楽しかったです

これから生かそうと思うこと

- ・(作り手の)ねらいを考えたり、嘘か本当かなどをだまされたりしないようにがんばろうと思いました
- ・テレビのニュースを見ているとき、アップとルーズを使っていたら何を伝えたいのか考えてみたい
- ・今後自分が送る立場に立った時に他人に迷惑をかけないか確認することは本当に大切だと思った
- ・アップとルーズだけで印象や伝わり方が変わってくるので、何かのせつめいをするときは今日のことを生かしてみたいです

参加校の先生より

- ・身近な小学生のメイクの是非に関するインタビューの取り上げ方、写真の加工など、子どもたちに身近なSNSを例に挙げながらだったので、子どもたちは身近なこととして捉え、考えることができていました。
- ・最初は緊張していた子どもたちが、次第に積極的になっていく様子に驚いた。子どもたちは初対面の人と向き合ったら沈黙してしまうのにオンラインの方が自分の意見を話しやすいのだということを知った。
- ・内容としては、5年生が妥当かと思いました。(学習单元なども含め)しかし、事前課題の「ケーキ屋さんの魅力を伝えよう」では、各クラスグループ→各クラス→学年と、納得してもらい人数が増えていったので決めるのに時間がかかりました。話し合いが進んで行くうちに、より考えが深まり有意義な時間だったと思います。



実施報告

実施日

2021年10月29日(金) 午後の部

参加校

158人の児童の皆さんに参加いただきました!

【宮城県】	仙台白百合学園小学校	6年生	40人
【神奈川県】	横浜市立黒須田小学校	6年生	47人
【福井県】	永平寺町志比小学校	5・6年生	42人
【大分県】	佐伯市立明治小学校	5年生	29人



アンケートより

学んだこと

- ・あまり気にしたことがないことでも作った人のいろいろな工夫があることを知りました
- ・受け取る方は送る方のことを、送る方は受ける方のことを考えて発信するといったことが分かった
- ・他校とも交流できて、様々な意見が生まれて、あーこのような考え方もあるんだな~というのが分かりました

参加した感想

- ・ほかの学校と意見を出し合うのは、したことがなかったし「A」と「B」をあげるのが楽しかった
- ・意見を出し合ったり、自分の本当の意見を言えてよかったなと思いました
- ・学校でCM作りをしていてそれにすごく役立つ内容でした

これから生かそうと思うこと

- ・アップやルーズを使いわけて、プレゼンテーションの写真に生かしたり、みじかな、加工などを場面に応じて使うことを生かそうと思います
- ・テレビとか見るときは、その情報が全部ではないとわかっておく
- ・写真加工はよくするのでやりすぎに注意しようと思いました
- ・それぞれ皆、思うことがちがいで、交流することでその意見も取り入れられるのでこれからも、友達と交流していこうと思います

参加校の先生より

- ・今回の教室で、「物事を疑ってみること」「視野を広げて考えること」の大切さが感じられたのではないかと思います。
- ・他校の同学年と意見を交換する経験は、子どもたちにとって、とても新鮮でした。また、自分とは、違った考えを知る事ができ、その意見について考える事で考えを深めることができました。
- ・用意された原稿だけでなく、その場の質問に応じて適切に答えるということの難しさを感じましたが、発表者となった児童にとってはとてもよいトレーニングの機会となりました。
- ・「メディアリテラシー」についてポイントをおさえていたこと(ホワイトボードに掲示した用紙は、その後も教室に貼りました)、児童に分かりやすく、かつ親しみやすく進めてくださったこと、各校、平等に発言の機会をいただけたこと、ありがとうございました。



進行役・早坂隆信アナウンサーより (午前・午後の部を通して)

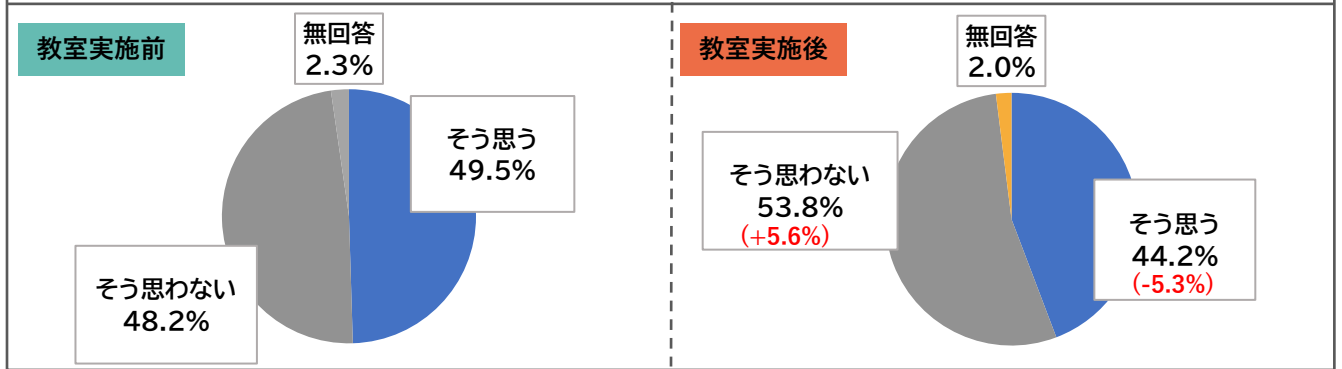
問いかけに対し自分の考えを深めて言葉にする、子供たちの力は本当に頼もしかったです! 事前課題に意欲的に取り組み、ねらい以上に学びを深めてくれる子供たちもいて関心しきりでした。受け手としても伝え手としても大切なのは「メディアの向こうにいる相手を想像する」こと。その気づきをサポートできるように、伝え方や学びの雰囲気づくりをより工夫していきたいと思えます!



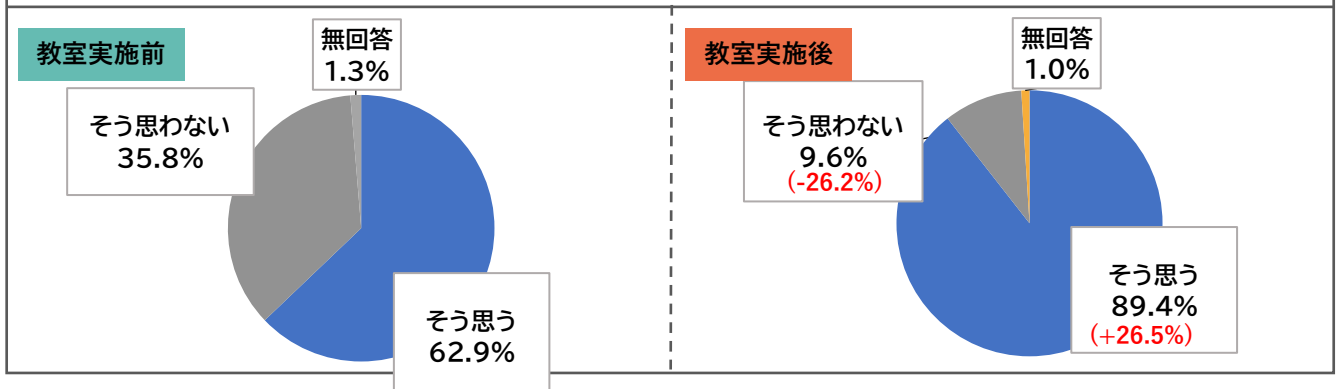
参加児童へのアンケート結果

(赤字は教室実施前との増減)

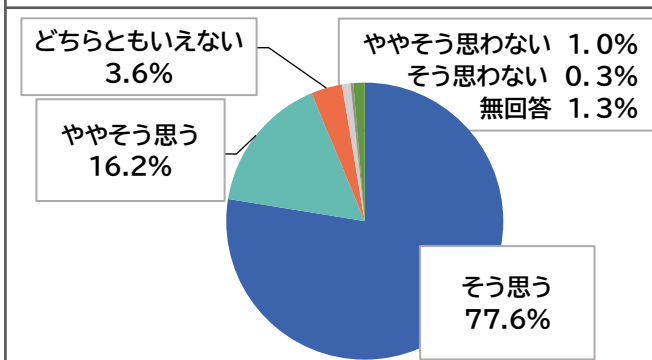
テレビ番組や動画コンテンツなどでインタビュー映像が使われる時は、かたよった印象を与えないように賛成意見と反対意見が同じ数だけ紹介されている。



観光パンフレットの写真は加工されている場合がある。



「つながる! NHKメディア・リテラシー教室」に参加してみて、楽しかったですか。



他の学校と一緒に取り組むことで、色々な考えにふれることができたと思いますか。

